

2 感染経路

このコロナウイルスは主に鼻腔、口腔、眼球などの粘膜より人体内へ侵入し、咽頭部で繁殖し(一部は腸管でも繁殖)、肺、血管、血液、脳などで障害を起こす。特に血液の凝固系(血の固まりかた)に影響し、致命的に状態を引き起こす

唾＝唾液の飛沫・接触感染

感染者の唾液が飛沫となり直接、他の人の目や口腔粘膜へはいる。また食物へもとびこみ、その食物を食べることにより侵入する。

唾液などが環境に付着し、それが人の手を介して口の中へ入ることにより感染する。

エアロゾル感染(空気感染の一種)

条件(咳、くしゃみ、大声等)によりエアロゾルが発生

この微粒なエアロゾル(ウイルスとごく少量の水分)が吸気時に鼻や口から侵入し、鼻腔、咽頭に感染する。

まれに糞(便)口感染

中国高層住宅で便のエアロゾル感染も報告されているが特殊な状況と考えられている。

また便が排出される下水にもコロナウイルスは発見されており、この量により感染者の増加を推測するという研究もあるが、下水中のウイルスによる感染は報告されていない

ウイルスは咽頭部、腸粘膜に感染巣をつくるため、このようにことがおこる

小児では糞便への排出が長期にわたると報告されている

エアロゾルによる感染が主体ではないかと考えられたが、現状では飛沫・接触感染が主体ではないか考えられている